

I 種 苗 生 産

親ガニは石川市、勝連町、沖縄市漁協から、健全な抱卵親ガニを選別購入し、陸上輸送（1～2時間）した。親ガニは、屋外8m²水槽で流水飼育を行ない、夕方に止水、通気のみにして、放卵ふ化させた。また、夜間はワムシを50個/ml以上収容し、幼生がふ化直後から摂餌できる状況にした。翌朝に活力のあるゾエア幼生をゴースネットで採集し、飼育水槽へ収容した。

幼生の飼育は、上屋付き50m²水槽（水容量45m³）を使用し、ゾエア期がワムシ20個/mlに維持し、ゾエア～メガロパ期がアルテミア幼生20～60個/l、冷凍アサリ10～20g/m²を投餌して行なった。

表 1 タイワンガザミの種苗生産結果

生産 回次	開始時		取り上げ時			水温℃ 平均(範囲)	
	月日	千尾(尾/l)	月日	飼育日数 (幼生期間)	千尾(尾/m ²) 生残率%		
1	5. 9	303(6.7)	5. 30	21(19)	37.8(840)	12.5	24.1(22.7～24.9)
2	6. 5	637(14.2)	6. 27	22(20)	38.4(853)	6.0	24.0(22.4～26.3)
3	6. 6	1,647(36.6)	6. 27	21(20)	39.5(880)	2.4	24.1(22.6～26.4)
4	7. 18	1,162(25.8)	8. 5	18(15)	9.9(220)	0.9	26.8(26.1～27.7)
5	7. 19	1,736(38.6)	8. 6	18(14)	35.1(780)	2.0	26.8(26.3～27.6)
6	7. 20	1,108(24.6)	8. 5	16(14)	127.5(2830)	11.5	27.1(26.8～27.7)

本年度は生残歩留りが低く、飼育途中に全滅した例が多く、総生産回次13回のうち、6回(表1)で、合計288千尾の稚ガニを生産した。

